

気を付けて、あなたのお口も歯周病 !?

成人の歯を失う原因の第一位は**歯周病**です。(図1)

厚生労働省が行っている令和6年歯科疾患実態調査では、50歳以上の国民の約50%の方が歯周病にかかっているという結果が出ています。そのため、多くの国民にとって、歯周病は自分事であり注意が必要です。

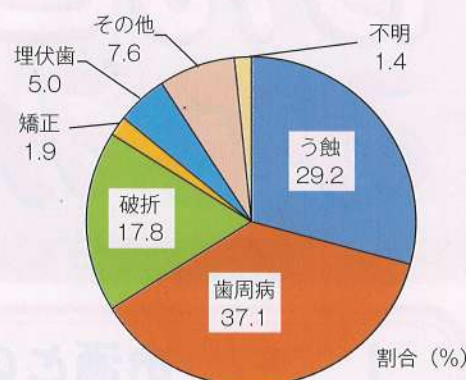


図1 抜歯の主な原因

公益財団法人8020推進財団
第2回永久歯の抜歯原因調査報告書

歯肉炎と歯周病

歯周病は、骨が溶ける前に歯茎が腫れたり赤くなったりする歯周病の初期段階の歯肉炎と、歯周ポケットが深くなり骨が溶けてしまう歯周炎という状態に分けられる病気です。歯肉炎の状態であれば、正しい歯みがきや歯科医院での治療で改善することが出来ます。しかし、歯肉炎が進行し歯周炎になって骨が溶けてしまうと、溶けだした骨を**元の健康な状態に戻すことは出来ません**。そのため、可能な限り歯肉炎の状態で進行を止めて、改善することが重要になります。(図2)



図2 歯周病の進行 出典：(株) コムネット

歯周病の対策として最も重要なのはご自身で行う歯みがき（セルフケア）ですが、歯みがきが適切に行えていない可能性もあります。歯科医院で定期的に歯みがきがしっかり出来ているかチェックしてもらい、歯みがきでは取れない歯石などをクリーニング（プロフェッショナルケア）してもらう事も重要です。そのため、お口の中が痛くなった時にだけ歯科医院に行くのではなく、定期的に歯科健診や予防処置を行う「**かかりつけ歯科医**」を持つことが重要です。

参考資料：令和6年歯科疾患実態調査の概要
(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_59190.html)

—お問合せは管理課保健医療担当へ—